

オンライン国際交流

令和8年1月21日(水)

総合講座「国際理解」では、富山県のICTを活用した海外交流学習事業を利用し、インドのハイデラバード英語外国語大学日本語学科の2年生18名とのオンライン国際交流を実施しました。

3年生も交えて、6つのグループに分かれて、お互いの自己紹介や地元の紹介などをしました。生徒たちは慣れない英語で相手に伝えようと懸命に奮闘していました。廊下や窓から雪の様子を見せ、今の富山の様子を伝えていました。50分でしたが、話が弾み、楽しい交流活動となりました。6限は本事業を担当されている富山県立大学の清水義彦准教授がインドの様子を紹介されたり、なぜ英語を学ぶのかについて野球や先生ご自身の経験を交えながらお話をされました。

「心に残る良い話」と感銘を受けた生徒もいました。



オンライン国際交流

どうしたら伝わるかな？



みんなで地元紹介

真剣な眼差しで講義を受ける生徒たち